

令和6年度第1回恵庭市社会福祉審議会・児童福祉専門部会
会議録（概要）

1. 日時 令和6年7月17日（水）13時30分～14時20分

2. 場所：恵庭市民会館 2階 大会議室

3. 出席者

【委員】美馬委員・大久保委員・高橋委員・佐々木委員・湯川委員・田澤委員・桑山委員・
齊藤委員・井上委員・秋元委員・米澤委員

【事務局】内山子ども未来部長・狩野子ども未来部次長・辰下子ども政策課長・高橋えに
わっこ応援センター長・大林幼児保育課長・吉川子ども発達支援センター長・五十嵐す
みれ保育園長・村仲子ども政策課主査・金子子ども政策課主査・渋田えにわっこ応援セ
ンター主査・庄司えにわっこ応援センター主査・前野えにわっこ応援センター主査・向
井幼児保育課主査・谷口幼児保育課主査・葛岡子ども発達支援センター主査・山下子ど
も政策課主事

4. 内容

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

※今年度より、新しく就任された委員に対して机上配布

(3) 挨拶（美馬部会長）

(4) 自己紹介（委員→事務局の順に）

(5) 副部会長の選任

※審議会委員から指名された委員の互選により選任

※事務局案を提示し、承認（副部会長に大久保委員）

(6) 報告

①次期えにわっこ☆すこやかプランについて

（子ども政策課より説明）

【質疑応答】

Q ②生活実態調査について、年齢区分に意図はあるのか

A 第2期えにわっこ☆すこやかプラン策定時にも調査をしている年齢区分で
あり、比較検討するためにも同じ年齢区分にしている。また道の調査も同じ年
齢を対象にしていることから参考にして設定している。

Q ③子ども・若者の意識や生活等に関する調査について、ひきこもりやニートの
当事者に対する調査は難しい部分もあると思うので、保護者や関係のある
方々に対する調査も必要なのではないか。

A 今回初めて行う調査になり、今回の計画から子ども・若者についても含めて
策定するものになる。そのような状況にある方がどの程度の割合で回答されて
いるか、全体数を見ながら現状を把握したいという思いがある。当事者にある
方の把握は難しい部分もあると思うが、今後施策を考えていく中で特化した実
態把握調査は今後も必要になってくると思われるため、その前段として今回こ
のような調査を行いたいと考えている。

Q ③子ども・若者の意識や生活等に関する調査について、若者に対する調査ということであれば、北海道文教大学の学生も協力できるのではないかと。大学内のみになるので偏りができる可能性もあるが若者の意見を取り入れるのであれば良いのではないかと。

A 色々な方法を検討していきたい。

Q 調査の方法について、紙以外にもQRコードを使いWebで調査する方法もあると思うがどのように行うのか。

A 資料No.1の4)の表の発送・回収方法に記載をご覧ください。調査自体は郵送でお送りするが、回答は郵送またはWebで回答できるようにしている。②子ども生活実態調査の小学2年生・小学5年生・中学2年生については、回収率のことも考慮し、学校を通して配布・回収を行うためWebでの回答ではなく、紙での回答のみとなる。

Q 学校で配布・回収する調査については持ち帰りではなく学校で回答してもらう想定なのか。家では書きづらい悩みを持つ子どももいるのではないかと。

A 小学5年生・中学2年生については、本人と保護者それぞれに回答してもらうことになる。回答はそれぞれの回答を小さい封筒に入れ、その小さい封筒を大きい封筒に入れる形で提出するのでことになるので、お互いに回答を見られることが無いような工夫をしている。

Q 現在の調査の回答状況はどの程度か。

A 学校経由でお願いしている調査については現在回収作業中なので進捗は不明。①子ども・子育てに関するアンケート調査のWebでの回答については、先週末の段階で2割弱の回答状況となっている。

②「恵庭市黄金ふれあいセンター・恵庭市生涯学習施設かしわのもり」の指定管理者制度の更新について

(子ども政策課より説明)

【質疑応答】

Q 市民や利用者から現状の利用について要望や課題はあがっているのか。あがっているのであれば指定管理の更新に際して考慮されるのか。

A 募集要項配布の前に指定管理の更新にあたって、黄金ふれあいセンターとかしわのもりで運営協議会を開催しており、そこで委員からは意見や強い要望といったものはなかった。

③幼保連携型認定こども園への移行及び地域型保育事業所の移転について

(幼児保育課より説明)

【質疑応答】

Q スマイル保育園の移転の理由と現利用者への影響について教えてください。

A 移転の理由としましては、現在利用している園舎から、お子様にとってより良い保育環境を求めた結果、新たに園舎を自ら建設するという経緯があったと聞いております。

現在のしままつスマイル保育園の利用者に不便をかけるのではといった点につきましては、今回の移転については、市としてしましても、園に対して、保護者様、利用者様へ丁寧な説明を求めておりました。市としてしましても、移転

が決まった昨年の時点で、しままつスマイル保育園の利用者様には、転園も含めて今後の意向を個別に確認して参りました。新規入所希望の保護者様にも移転することを告知した上でお申込みいただいているところでもあります。また、園としても、在園児に対してバスの送迎の提供もご用意しているとのことでした。

Q 島松地区の保育園は1カ所になるのではないかと。利用者は自宅の近くが良いと考える方が多いと思うが、その受け皿が1カ所になっても問題ないのか。

A 島松地区には、しままつスマイル保育園以外に、未満児を受け入れている園としては、2園（島松いちい保育園、島松もみじ保育園）あります。また、車で5分程度範囲内で、恵み野地区に2園ある状況です。また、1歳児・2歳児の入所申込の状況としましても、恵庭駅周辺地区から埋まっていき、恵み野・島松と埋まっていく傾向にあります。保護者様には、通える範囲の中で園を選択していただくこととなります。

(8) その他

▽事務連絡

- ・今年度の部会は、今日を含め、11月・2月の計3回を予定

以 上